



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2016

5月20日号

152
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 559) 1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

めぐる季節



副会長 平井和子

春の日差しが心地よく、若葉萌える季節となりました。

福島の桜はほとんどの地域で終わり、桜前線はどんどん北上しています。

私は、学生時代を青森県弘前市で過ごしました。この季節には、やはり弘前公園の桜を思い出し、あの桜並木の下を、桜吹雪の中を歩きたいと切に願うのです。毎年、今年こそはと思いながら、なかなか行けずにおります。ちょうどゴールデンウィークと桜の開花が重なり、それは多くの人で賑わいます。青森の冬は長く、桜まつりとともに活気が戻り、夏のねぶた祭りで最高頂となります。ねぶた祭りは、短い北国の夏を謳歌するかのように情熱的で勇壮です。それが終わると秋風が吹き、また長い冬になります。北国の人たちの春から夏にかける思いは、私たちとは、また違うものを感じます。

さて、当院は桃畑に囲まれた中にあり、桃の花が満開になると、あたり一面鮮やかな濃いピンク色に染まります。青い空と草の緑、そして桃の花のコントラストは、まさに桃源郷というにふさわしい美しさです。この地域は、桜が終わると桃の花、梨の花、りんごの花と次々と花を咲かせます。まさに百花繚乱のような美しい季節を迎えています。しかし、その花の美しさとは相反し、福島県の農産物は、いまだに風評被害を受け、東日本大震災の影響がいまなお続いています。

あれから5年という月日が経ち、多くの人たちは普通の生活をする中で、ともすれば忘れかけていたかもしれない矢先に、今度は熊本県を中心に大きな地震が発生しました。TV等でそのニュースを目にするたび、胸が熱くなります。同じ経験をした者として、早い復興を願うばかりですが、多くのボランティアの方の姿を見るにつけ、頭が下がる思いです。わずかな時間でも被災地と寄り添うことを選んだボランティアの方々のその尊い思いには、感動を覚えます。

被災地に行くことができなくても、物資を送る、募金をする、地元産品を購入する、復興のための観光イベントに参加するなど、少しでも被災地に関わっていく方法もあると思います。

多くの方のそのような思いは、どんな小さなことでも、かけひきのない尊いもので、被災地で多くの花を咲かせると 생각합니다。復興の速さを計ることはできませんが、季節がめぐるたび、少しずつ前に進むことを信じ、同じ被災地の一人として、これからも思いを寄せていきたいと考えています。

～会長「オンレコ」～

1. 「保険医療従事者に係る**県内新養成施設基本策定に関する****有識者ヒアリング」**

県庁から電話で、大学構想について委託業者からのヒアリングを受けて欲しいと連絡がありました。3月10日(木)に西ノ内病院で、日本総研の方からヒアリングを受けました。

学生数の妥当性、現在や今後の技師数の過不足予想、隣県の養成施設について、技師会との協力体制や大学院等を、質疑応答しました。

技師会からの要望として、「先生はぜひ修士や博士の技師から選考して欲しい。また、学生の県内卒の検討、将来的には大学院設置も検討等」の意見を述べました。

今後も県や新設する技師育成学校とは、良い関係を築いて行きたいと考えます。また動きがあれば、随時会員の皆さんへお知らせします。

2. 「県立医科大学新学部の教職員構想」

4月26日(火)夕方に、太田西ノ内病院に福島県立医科大学の矢吹副理事（新医療系学部設置準備担当）が挨拶にお見えになりました。

4年後の診療放射線の新学部について、矢吹先生から、「公募すれば全国から先生は集まりますが、県内の技師さんで修士や博士の方を受け入れたい。県技師会に、ぜひお力を貸して欲しい。修士の方でもやる気があれば、準備室付けにして博士を取ってもらっても構いません。」と言われました。私からは、「技師会としても、協力を惜しみません。ぜひ県内の修士や博士の技師を採用してください。新学部設立後も、技師会と友好的な関係を築いて頂きたいと思います。」と回答しました。

今後、お互いに情報交換を行い、友好的に進めて行く事で合意いたしました。

3. 元世界医師会長・坪井栄孝氏お別れの会

元世界医師会長・日本医師会会長で、2月9日に86歳で死去した慈山会医学研究所付属坪井病院 名誉理事長の坪井栄孝さんのお別れの会が、3月27日郡山市のホテ

ルハマツで開かれました。

県内外の医療、経済関係者ら約2000人が参列し、がん医療充実などに尽くした坪井さんの遺徳を偲びました。生前は、顧問をお願いするなど当会にも多大なご尽力を頂きました。当会からは、代表として齋藤事務局長が参列しました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

4. 県薬剤師会での**「放射線ファーマシスト」育成事業**

4月13日(木)午後から、福島市にある福島県薬剤師会事務所を、日放技小川副会長と供に訪れました。

県薬剤師会での「放射線ファーマシスト」育成事業の目的や経緯について、県薬剤師会の町野会長や宗形担当常務理事からお話を伺いました。

目的は、「薬剤師としての学術的特性と資質を活かし、放射線の知識を修得し、その情報を県民に正しく伝えること」とおっしゃっていました。

院外処方薬局としては、医療や環境問題等の相談窓口として、その機能を生かす環境にあり、安定ヨウ素剤調整も含めて県内の薬剤師を指導し、緊急時の対応を万全なものとする事だそうです。テキストも初級・中級・上級とあり、確認の試験もあります。



薬剤師会「放射線ファーマシスト」養成テキスト

会員数は1350名で、会員754名が受講され認定を受けているそうです。また、300名が学校薬剤師で、薬局という店舗830か所あります。

技師会からは、震災時・後の活動について説明をしました。最後に、今後は当会と県薬剤師会は、互いに連携・協力し合う事を確認し合いました。

～お 知 ら せ～

▶『会員情報変更』手続きのご案内

ネットワーク委員長 菅野和之

会員情報（勤務先、住所、氏名等）に変更があった会員の変更手続きが県技師会ホームページ上から行えるようになりました。

技師会ホームページの「会員・医療従事者の方へ」の「入会・登録情報変更について」、「県技師会登録情報変更のページ」にお入りいただき、それぞれ加入されている技師会の手順に従って変更手続きをお願いいたします。

▶『フレッシューズセミナー開催』のご案内

生涯教育委員長 堀江常満

日本診療放射線技師会と福島県診療放射線技師会は共同して、新人診療放射線技師を対象としたフレッシューズセミナーを開催することとなりました。このセミナーの特徴は、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、

エチケット・マナーを学ぶだけではなく、診療に対応できる新人診療放射線技師として知っておくべき基礎知識の習得を目的として開催します。

新人診療放射線技師がおられましたら、フレッシューズセミナーへの参加をお勧め願いたいと存じます。

日 時 : 平成28年6月12日(日)

午前10時から午後4時30分まで

場 所 : 太田綜合病院附属太田西ノ内病院

対象者 : 概ね3年目以下の診療放射線技師

参加費 : 無料

締切り : 6月3日(金)まで(完全予約制)

申込み : horie@ohara-hp.or.jp

下記の内容を記入の上メールをお願いします。

・『件名』として

「フレッシューズセミナー参加希望

〇〇病院 氏名」

・『本文』として

①お名前（ふりがな） ②所属施設名

③技師会加入の有無 ④技師歴（卒年度）

地 区 全 体 会

～各地区から 全体会報告～

◇ 会津地区

平成28年4月23日に会津地区協議会全体会が行われました。昨年は役員改選により委員長をはじめ大幅に役員が入れ替わり、新たな体制での事業が始まりました。皆で協力しながら、会津地区協議会委員会、会津画像研究会、乳房撮影研究会、会津若松市健康まつりと事業計画通りに事業を進めることができました。

今年度も診療放射線技師会・会津地区の医療発展に全力を尽くし、皆様のご期待に添うよう努力していきたいと思います。会員の皆様におかれましては、技師会活動への積極的な参加やご意見を求めると同時に、ご協力とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《平成28年度事業計画》

- ・「業務拡大に伴う統一講習会」の開催並びに参加
- ・会津画像研究会
- ・会津乳房撮影研究会
- ・会津若松市健康まつり
- ・会員相互のコミュニケーション促進事業
- ・連絡網の整備

その他、会員からの新たな要望なども積極的に取り入れて事業に取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

(浅川)

【会津地区役員紹介】

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	鈴木 雅 博	竹 田 綜 合 病 院
副 委 員 長	森 谷 辰 裕	会 津 中 央 病 院
会 計	山 下 朋 廣	竹 田 綜 合 病 院
事 務 局	井 上 基 規	竹 田 綜 合 病 院
監 査	小 松 一 文 遠 山 和 幸	会 津 中 央 病 院 県 立 南 会 津 病 院
学 術	小 沼 慎一郎 二 瓶 秀 明 長谷川 克 己	会 津 中 央 病 院 竹 田 綜 合 病 院 会 津 医 療 セ ン タ ー
学 術 マンモ専任	松 野 佳 子	竹 田 綜 合 病 院
編 集	森 谷 辰 裕 浅 川 和 弘	会 津 中 央 病 院 県 立 南 会 津 病 院
総 務	小 枝 麻 加 佐 藤 秀 樹 白 岩 大 輔	有 隣 病 院 坂 下 厚 生 病 院 会 津 中 央 病 院
表 彰	松 枝 直 宏	竹 田 綜 合 病 院
顧 問	白 川 義 廣 渡 部 育 夫 山 田 隆 弘	竹 田 綜 合 病 院 会 津 医 療 セ ン タ ー 会 津 中 央 病 院
相 談 役	中 丸 俊 一 佐 藤 幸 志 秦 昭 吉 坂 本 弘 道 星 剛 志	個 人 個 人 個 人 磐梯町保健医療センター 瑠 璃 の 里 入 澤 病 院

◇ 県北地区

「H28年度 県北地区協議会 全体会」

《事業計画》

(1) 勉強会の開催

- ・話題となっている新しい技術等について、装置メーカー等から情報を提供していただく。
- ・各施設でまだ経験の浅い方を対象に発表のために研究内容の検証・発表資料の作成・発表の経験をつんでいただくような研修会の企画。
- ・その時々話題を中心に、旬の話題を提供できるような勉強会を企画する。

(2) 学術講演会の開催

- ・最新医療の情報、新たな技術の情報等を習得できるような講演会の企画。

(3) 厚生活動

- ・夏季交流会の開催（8月）、新年交流会の開催（1月）、他施設の会員との交流を通じて情報の交換・共有を図る。
- ・その他会員の厚生活動に関すること。

(4) 学術、精度管理

- ・原発事故に対する市民への情報提供等に対し、協力できるよう、資料を収集する。
- ・福島県放射線技師総合学術大会、第6回東北放射線医療技術学術大会、県技師会開催の学術講演会や生涯セミナーへの積極的な参加を促し、学術発表を支援する。

(5) 啓発活動

- ・原発事故による影響等、市民への助言・相談に努めるとともに医用放射線の有効利用について啓発する。福島市健康まつりへの参加によって、上述の啓発活動を実施し、放射線技師の仕事の理解を深めてもらう。
- ・その他、啓発活動に関する大会や行事が行われた場合、積極的に参加する。
- ・福島県原子力防災訓練等がある場合、技師派遣の要請に応じるなど、協力する。
- ・市民公開セミナー等の開催に協力する。

(6) 県北地区協議会たよりの発行

- ・県北地区協議会の活動状況、学術情報、施設紹介、新入会員紹介等を掲載。

- ・年2～3回の発行を予定し、会員への情報を提供する。
- (7) その他
- ・県北地区協議会として必要と思われる事業、行事等を随時行っていく。(安藤)

◇ 県南地区

「平成28年度 県南地区協議会 全体会」

期 日： 平成27年4月20日 19時より

場 所： ビッグアイ7F 第1会議室

全体会に先立ち、教育講演として当会新里昌一会長により「診療放射線技師法改正と業務拡大について（業務拡大に伴う統一講習会）」をご講演頂きました。昨年より始まった統一講習会ですが、始まった経緯や、講習内容の解説がなされ、会員の質問にも丁寧に答えて頂き、大変わかりやすい講演会となりました。

今年度も開催を予定しているとのことでした。



教育講演 講師は新里会長

全体会については、鈴木博紀氏（桑野協立病院）が議長に選出され、平成27年度県南地区協議会事業報告、収支決算報告並びに監査報告があり、原案通りに承認されました。

28年度の事業計画は、例年通りサマーセミナー（講演）、新年勉強会（会員発表）、MRI研究会、CTビギナーズセミナー等の学習セミナーや「ファミリーフェスタ郡山」、「ピンクリボン in 郡山」、「保健所運営協議会」等の公益活動へ積極的に参加していくこととなりました。また、会員の親睦を図るため、サマーセミナー後には「ビア・パーティー」、新年勉強会後には「新年情報交換会」を企画します。例年活況を呈していますが、今年度も

多くの会員に参加して頂ければと思います。

地区協議会役員の一部改選があり、現在県理事、県ネットワーク委員会委員長を務める前副委員長の菅野和之氏が県南地区協議会の顧問として就任しました。

さらに今年度は、公益社団法人福島県診療放射線技師会定期総会が5月28日14：00より県南地区担当にて開催されます。地区協議会委員の協力体制のもとで無事に執り行われるよう、準備していきたいと思っています。

以上、28年度予算案を含め全ての議案に関し、原案通り承認され全体会を終了しました。

(県南地区事務局 山口)

◇ 浜通り地区

「平成28年度 浜通り地区協議会 全体会」

平成28年4月23日いわき市立総合いわき共立病院において「平成28年度公益社団法人福島県診療放射線技師会浜通り地区協議会 全体会」が開催されました。



浜通り地区協議会全体会の様子

田中副委員長の総司会で協議会が始まり、池田副委員長による会の開催が宣言されました。秋山委員長からの挨拶の後、資格審査委員、議長、書記の選出を行い協議会の進行を議長に託され、資格審査委員により協議会が成立されたことを宣言されました。その後議事に入り、平成27年度事業、決算、会計監査報告を行い採決承認されました。

次に、平成28年度事業計画、予算案が提案され承認されました。

秋山委員長より、統一講習会の開催や夏季講習会の開催について発表されました。

議長、書記が解任され池田副委員長により全体会が閉会されました。(菅原)

地区だより

浜通地区

「第28回 いわき地区画像研究会」開催

平成28年3月22日いわき市立保健センターにおいて、第28回いわき地区画像研究会が開催されました。

演題はまず、いわき市立共立病院 折笠氏による「当院の救急救命センターのFPD化」ポータブル撮影におけるFPD導入時の共立病院の仕様と気をつける点など発表していただき今後FPD化を考えている施設に役立つ情報になると思います。



いわき地区 画像研究会会場の様子

また、各施設の発表演題として、いわき市立共立病院 熊坂氏「当院におけるMMGの現状」、呉羽総合病院 渡辺氏「当院における乳腺検査の現状」、ときわ会常磐病院 廣木氏「乳房MRI～当院の撮像方法と各シーケンスの撮像ポイント」など、マンモ撮影の工夫やコツを紹介していただき大変勉強になりとても有義な研究会となりました。(菅原)

「相双地区 画像勉強会」開催

平成28年2月24日、南相馬市内のホテルで平成27年度相双画像勉強会が開催されました。

テーマは、「Dual Energy CT 最新の話題」とし、シーメンスジャパン、GEヘルスケア、東芝メディカルシス

テムズの3社に参加していただき、技術と自社製品の特長を紹介して頂きました。

34名の来場があり、興味のあるテーマであったと思います。

その後、同ホテルで懇親会を行いました。24名の技師と、メーカーの皆さんも参加していただき情報交換会もかねて楽しい時間を過ごせました。



相双地区画像勉強会 懇親会の様子

震災から5年を過ぎ、相双地区はまだ元には戻ってはいません。各医療機関は頑張っていますので他の地区の皆様にも応援していただけたらありがたいです。(大井)

編集後記

季節の変わり目の時期ではありますが、急に暑くなる日もあり、会員の皆様には職場環境の代わられた方もいらっしゃると思いますので体調管理に気を付けて頑張ってください。

熊本地震に遭われた被災者の皆様には1日でも早く復旧されるように応援したいです。 小野田病院 大井